

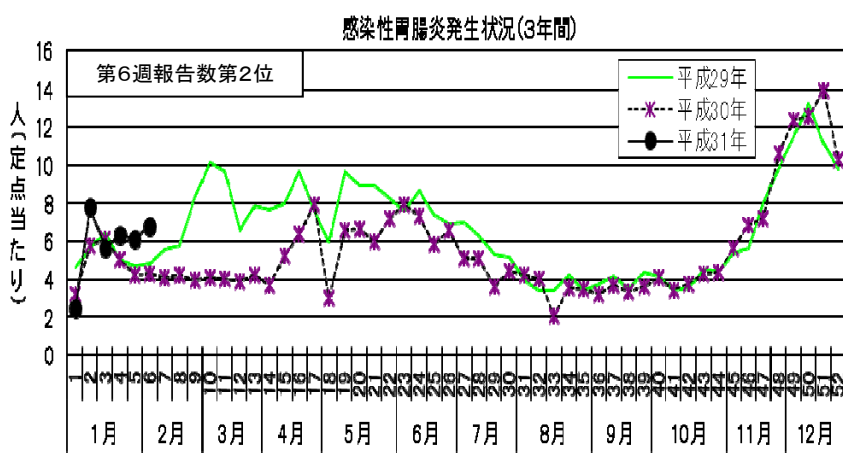
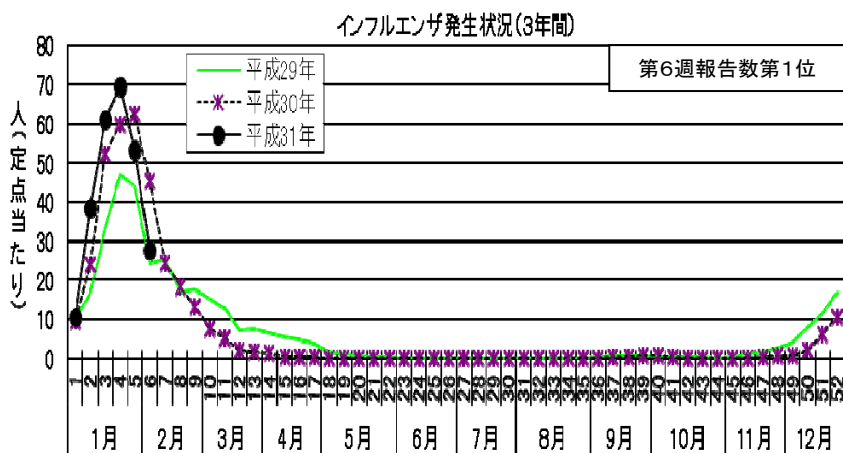
# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年2月4日（月）～平成31年2月10日（日）〔平成31年第6週〕の感染症発生状況

第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は27.87人と前週（53.39人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.78人と前週（6.14人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.62人と前週（2.27人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

★麻しんウイルス★  
ハシカンくん



## 全国的な麻しん（はしか）の発生にご注意ください！！

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性の熱性発疹性疾患ですが、昨年末から全国的に患者報告数が増加しています。特に、年始以降は東海、関西地方を中心に流行がみられています。

現在、川崎市における報告はありませんが、近隣の自治体では患者の発生がみられているため、定期予防接種の対象者は早めに接種を済ませましょう。罹患歴、ワクチン接種歴のいずれもない方にも予防接種をおすすめします。

### 気を付けたいポイント

現在、国外の麻しん流行地からの帰国者だけでなく、国内で発生している地域に旅行歴のある方からも麻しんの発生がみられています。

麻しんの特徴を知って、感染が疑われる場合には、必ず事前に電話で症状や旅行歴などを伝え、医療機関を受診しましょう。

#### 【感染経路】

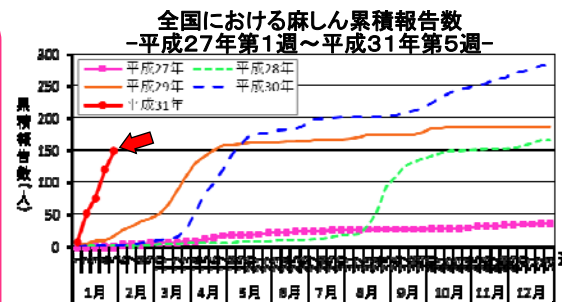
空気感染、飛沫感染、接触感染

#### 【潜伏期間】

7～18日間（最長21日程度）

#### 【主な症状】

発熱、発疹、咳、鼻汁、結膜充血など



### 麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

【第1期】

生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

【第2期】

小学校就学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）

※MRワクチンを接種することで、麻しんだけでなく、昨年の夏以降、全国的に流行がみられている風しんも予防することができます。